『賃貸ESTA』および『会計FINE』 機能追加内容について

はじめに

『賃貸ESTA』および『会計FINE』バージョン3.0.0にて機能追加を行いました。 機能追加内容については以下をご確認ください。

1 賃貸ESTAおよび会計FINE共通 機能追加内容

◎自動バージョンアップ機能

··· P. 2

2 会計FINE 機能追加内容

◎ 「2画面参照」機能

··· P.5

自動バージョンアップ機能

「自動バージョンアップ」とは、新しいバージョンがリリースされた場合に、 『賃貸ESTA』『会計FINE』を起動するだけでインターネット経由でバージョンアップを行う機能です。 これまでのようにCDをセットしたり、弊社HPにダウンロードしに行く手間がなくなり、常に最新の バージョンをご利用いただくことができるようになります。

ここでは「自動バージョンアップ機能」の利用条件、バージョンアップ手順をご説明します。

自動バージョンアップ機能の利用条件について

以下の条件を満たしている場合、自動バージョンアップの機能が利用可能です。

1 パソコンがインターネットに接続されている

『賃貸ESTA』『会計FINE』がインストールされているパソコンが、 インターネットに接続されている必要があります。

2 **『賃貸ESTA』『会計FINE』Ver3.0.0以上がインストールされている**

『賃貸ESTA』『会計FINE』Ver3.0.0インストール後からご利用可能となります。

3 保守サポートご加入中である

『賃貸ESTA』『会計FINE』の保守サポートにご加入いただいている方が対象の機能です。

自動バージョンアップ方法について

上記の利用条件を満たしており、最新バージョンがリリースされた場合には、 以下の手順で自動バージョンアップが実行されます。 ※自動バージョンアップ手順は、『富士山賃貸ESTA』『富士山会計FINE』ともに、同一と なります。

以下『富士山会計FINE』を例にバージョンアップ手順をご説明いたします。

1 『富士山会計FINE』を起動

デスクトップ上のショートカットアイコン等から『富士山会計FINE』を 起動してください。

2 最新バージョンを確認

最新バージョンが存在するか、自動で確認をおこないます。 しばらくお待ちください。 ※インターネットへの接続環境等により、お時間がかかる場合があります。

図1 最新バージョンチェック中

しばらくお待ち	ちください	\times
	システムバージョンを確認しています。 	

3 「バージョンアップのご案内」画面表示

最新バージョンがリリースされた場合「バージョンアップのご案内」画面が 表示されます。

①「最新バージョン」②「アップデート内容」を確認できます。

図2 バージョンアップのご案内

バージョンアップのご案内 最新プログラム Version 3.X.X が公開されました。(20XX/XX/XX)
アップデート内容
平素より富士山会計FINEをご利用いただきまして 誠にありがとうございます。
このたびのアップデート内容をお知らせいたします。
①新機能「●●●●」を追加しました。 2
今後もお客様への一層のサービス向上に取り組んでまいりますので、 引き続きご愛用いただきますようお願い申し上げます。 3
これまでの更新風歴
自動バージョンアップを継続する場合は「実行(E)」をクリックしてください。
実行(E) キャンセル(C)

③「これまでの更新履歴」から、過去のバージョンアップ内容も確認できます。



「キャンセル」でバージョンアップを保留できます バージョンアップを保留したい場合には[キャンセル(C)]を選択する事で 現在インストールされているバージョンをご利用いただけます。 最新版でのご利用を推奨しておりますので、最新バージョンが公開されて いる場合にはインストールをお願い致します。

4 [実行(E)]を選択してダウンロード&インストール開始 「実行(E)」を選択すると、ダウンロードが始まります。 ダウンロードからインストールまで、自動で実行します。

ロード中	
5ください	\times
最新バージョンをダウンロードしています。	
	ロード中 らください 最新バージョンをダウンロードしています。



バージョンアップ完了後、『富士山会計FINE』起動
最新バージョンへのバージョンアップ完了後、『富士山会計FINE』が自動的に
起動します。

以上で、自動バージョンアップは完了です。 『富士山賃貸ESTA』も同様の手順です。

インストール後のバージョン情報は、メニュー画面左下でご確認頂けます。

G ファイル	
○ ヘルプ	
●終了	
Version 3.x.x	使 用 者 ライセンス

2

「2画面参照」機能

「2画面参照」機能は、当期データ作業中に、前期以前のデータを確認・コピーできる機能です。 仕訳入力中に、他データの仕訳を参照できるため「昨年はどのような仕訳を入力しただろう?」 といった確認のために、わざわざデータを切り替えていた手間がなくなります。

「2画面参照」機能では、他データ参照用に別画面を表示します。 別画面に表示された仕訳を検索したり、仕訳を当期データへコピーすることができます。

「2画面参照」機能は【④日常業務】の【1.仕訳帳】または【2.総勘定元帳】から利用できます。 ここでは【1.仕訳帳】を例に、「2画面参照」機能についてご説明します。

図1 2画面参照 事業主名 : 1 富士山会計FINE ┃ 区分 : 個人(不動産) 富士 太郎 ESTA ROL 2 画面参照 1 仕訳帳 ■ 事業期間: 平成31年01月01日 ~ 令和元年12月31日 月分 1 2 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決 全期間 諸口差額 <u>वेर्ह</u>र
 ITENTER

 部門
 税区
 税率

 簡易
 内外
 貸方科目 補助科目 摘要 借方科目 補助科目 部門 税区 簡易 金額 消費税 日付 No 付箋 (1 南土 大部) 平成30年0 1 Bot 0 - **Z**at 当期データ 2 画面参照:仕訳帳 月分 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 諸口差額 信方科目 補助科目 103 答通預金 2 宮土山銀行 190 李兼主賞 貸方料目 補助科目 税区 税率 全額 簡易 内外 消費額 痛翌 打 伝票 借方 類 辞書 科目 補助 部門 税区 簡易 01/05 2 → →→土里
→ →→土里
→ 1 移銀行 青葉
→ 1 移銀行 青葉 前期以前のデータ 01/06 103 みをと工房 株式会社 HBO/0 F3 仕訳辞書呼出 01/06 18 みた工房 株式会社 HSD/0 01/06 🔺 403 駐車場収入 9,720 駐車場代 藤パー (720 ---キング2 みると工房 株式会社 H 10 8 内 01/06 103 普通預金 1 認識行 青葉 401 家賃収入 01/07 🚄 103 答通預金 1 30 120,000 家 首 矢島 透: 表示作款 845

<2画面参照>画面の表示方法について

以下の例をもとに、<仕訳帳>画面から<2画面参照>画面を起動する方法をご説明します。

例)「富士太郎_令和2年度分」データ入力中に、前期(令和元年分)データの仕訳を 「2画面参照」機能を使って参照したい。

1 「富士太郎_令和2年分」データを選択します

【⑥ファイル】-【1.データ管理】で「富士太郎_令和2年分」データを選択します。

図2 テ	ータ管	埋進	血			
富士山: ■ デー:	会計F ^{夕管理}	INE				I X
			検	索実行		
						データー覧
担当者		10	李米土 石	決算年月日	期	科目体系
		1	富士 太郎	R02/12/31		個人(不動産)

2 <仕訳帳>を開きます

【④日常業務】-【1.仕訳帳】から<仕訳帳>画面を開きます。

3 [2画面参照] ボタンを押します

<仕訳帳>画面上部の[2画面参照]ボタンを押します。

図3 2画面参照ボタン

富士山会計FINE 【	(1) メニュー画面	esta 取込	2 画面参照	確認印刷
月分 1 2 3 4	5 6 7	8 9 10 11 12 決	全期間	並び順

表示された<データ選択>画面から、「2画面参照」機能で参照したいデータを 指定し、[選択]ボタンを押します。 例の場合「富士太郎 令和元年度」データを選択します。

図4 データ選択画面

2 画面参照	確認的	区 分 曝	: 個人(不重	bb産)	富士 太郎 ©1月01日 ~ 令和023	≢12月31日		
全期間	並び	💿 データ選択						×
注目 注目	部門	富士 太郎	• 	検索解除				
				検	i索結果(ESCキーで相	(東索解除)		
		担当者	⊐-/×	<u> 本業主</u> 2	科日休系	決算在日日	仕訳数	^
				富士 太郎	個人(不動産)	R01/12/31	845	
		☑ 完了デー	-96表示			選択	! キャンセノ	ب



データの絞り込み機能について

データ選択画面では、あらかじめ「事業主名」が一致するデータのみを 表示しています。

異なる事業主名のデータを参照したい場合には [検索解除] で絞り込みを解除 することで、「事業主名」が一致しないデータも表示することができます。

「富士太」	郎」で検	索し、絞り込み	表示
富士 太郎		検索解除	
			検索結果
担当者	ゴード	:	事業主名
	1	富士 太郎	

「検索解除」を	実行した場合
---------	--------

		検索実行
担当者	コード	事業主名
	1	株式会社ABC
	1	富士 太郎

<データ選択>画面は初回のみ表示

「2画面参照」機能の<データ選択>画面は、最初に[2画面参照]ボタンを 押したときに表示されます。

ー度「2画面参照」機能用のデータを選択した後は、入力データを閉じるまで 前回の参照データを記憶しています。

参照するデータを切り替えたい場合は<2画面参照>-[F5:データ選択]から 変更します。 <2 画面参照>画面が起動し、選択したデータの仕訳を確認できます。

図5 <2画面参照>画面

🐨 [1 🕷	± 太郎]	平成30	年01月01日 平成30	0年12月31日	3					*- 0	×
2 画	面参照	:仕	訳帳								
月分	1 2	3	4 5 6 7	8 9	9 10	11 12 決	全期間	Ť	おぼう 日付順	「諸口差額」	0
									住訳帳		
日付	No		信方科目	税区		貸方科目	税区	税率	全額	續要	^
付美			補助科目	簡易		補助科目	簡易	内外	消費税		
01/05	-	103	普通預金 富士山銀行	1	401	家貨収入	30		10,000	共益費 キャトルセジ 102 須藤 政孝 H30/01	
01/05	2	190	李棠主旨	1	103	普道預金 富士山銀行	1		4,969		-
01/06		103	普通预金 经银行 青葉	1	401	家質収入	30		120,000	家 賃 キャトルセジ 203 みさと工房 株式会社 HB0/01	
01/06		103	普通預金 練銀行 青葉	1	401	家賃収入	30		10,000	共益費 キャトルセジ 208 みた工房 株式会社 H80/01	-
01/06		103	普通預金	1	403	駐車場収入	10	8	9,720	駐車場代 藤パーキング 2 みさと工房 株式会社 H30/01	
		1	接银行 背尾			ALC: N. 19. 19. 4		内	(720		- 1
01/08	3	190	争亲王宫	1	103	普通热亚 線銀行 青葉	1		50,000		
01/07		103	答通預金	1	401	家賃収入	30		120,000	家 首キャトルセン 204 矢島 透 H30/01	~
表示作	教	845									
			10			9	[15] 一分選択			(F10) (F11) (F12) 技術系術社 住民観希 (第5)	2

<2画面参照>画面の仕訳をコピーする方法

<2画面参照>画面で表示した前期データの中から、必要なデータを選択し、 入力中の当期データにコピーすることができます。 以下の例をもとに、<2画面参照>画面の仕訳をコピーする方法をご説明します。

例) < 2 画面参照 > 画面に表示した前期(令和元年分)データの仕訳を、 当期データ(令和2年度分)にコピーする。

1 < 2 画面参照>画面の仕訳の中から、コピーする仕訳を選択します。

<2画面参照>画面の「令和元年度」の仕訳の中から、コピーする仕訳を選択します。

2 画面参照:仕訳帳												
月分 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 決 全期間								期間	Ĺ	む"順 E	3付順[•
仕訳帳												
日付	No	lo 借方科目			区 貸方科目 税区			税区	税率	金額		
付箋		補助利	簡易	補助科目 簡			簡易	内外	消費税			
(\mathbb{R})		403 駐車	昜収入	10	204	前受賃賃	資料	1	8		10,800	駐車場代
					100				- 73		(000	
W	239	602 預善1	米 (東村)	80	103	普通視望	Ê	1			52,239	
					2	富士山調	長行 しんしょう					
0.000	7/16		0 45 ±0	1	- 117			1		4	111169	
表示件数 32												
	F3 F5 コピー データ選択				訳							

図6 コピーする仕訳を選択

[F3: コピー] (または ENTER、ダブルクリック)で、<2画面参照>画面で 選択した「令和元年度」の仕訳を、入力中の当期データ(令和2年度)の 仕訳入力欄へコピーします。

富士山会計	FIN	2 画面	面参照	::仕記	尺帳											
【 仕訳帳		月分	1 2	2 3	4 5	6	7	8	9 10	11	12 決	全期	8	並び	順日付順	-
	2														仕訳帳	
	-	日付	No		借方科	目		税区		貸方	科目	税	区 税3	3	金額	
		付箋			補助科	目		簡易		補助	1科目	簡	易内外	1	消費税	
日付 No 付箋		()		403	駐車場	収入		30	204	前受	で賃貸料		1		10,000	駐車場
		æ	239	602	損害傷	限解料		80	103	普通	預金		1		52,239	
									2	富士	山銀行					
		(649)	240	602	t名"丰"//5	「「「「「「「」」」		00	102	<u>- 200</u> 14	4 3百 -今-		1		71.050	
		表示件	-数	32												
表示件数												F5 データ選択				
日付 倍	云票		借方		税区		f	主方		税区	税率	金	客員			摘要
E 辞分類 話	辞書	科目	補助	部門	簡易	科目	1	補助	部門	簡易	内外	消;	費税			
hn 1331		602			80	103		2		1	Ψ.		52,239			
		損害保険	美料 补]	普通剂	[金-1	富士山	銀行							
			仕部	F3 (辞書呼出					F5 補助追加		F6 元帳		F7 試算:	ę.	F8 月計表	

図7 <2画面参照>の仕訳を、入力中の当期データにコピー



科目や補助がコピーされない場合

入力中の当期データに存在しない「科目」や「補助科目」などをコピー した場合、該当箇所はコピーされません。不足箇所を入力してください。

例)入力中の当期データに「普通預金」の補助「富士山銀行」が存在しない場合

図8 「普通預金」の補助「富士山銀行」が存在しない場合、コピーされません



3 修正完了後、仕訳を登録します。

「日付」「金額」など、必要に応じて適宜修正し、仕訳を登録します。

<2 画面参照>画面のその他の機能について

<2画面参照>画面には、コピー機能以外にもさまざまな機能があります。

[F5:データ選択]

<データ選択画面>を表示し、参照用データを切り替えることができます。

[F11: 仕訳検索] [F10: 検索解除]

参照画面内で仕訳検索・検索解除ができます。 検索機能の詳細は『富士山会計FINE』-【ヘルプ】-【1.マニュアル】から 表示される「富士山会計FINEマニュアル」P.67を参照してください。

月分フィルター

< 2 画面参照>画面を開く際、入力データ側で選択している「月分フィルター」の設定内容を引き継ぎます。表示後に変更することもできます。

例)入力データで「4月」を指定⇒ <2画面参照>も「4月」を指定して表示

図9 月分フィル	ターの値について
----------	----------



「月分フィルター」では、指定した月の仕訳だけを表示することができます。 「月分フィルター」の詳細は、『富士山会計FINE』-【ヘルプ】-【1. マニュアル】 から表示される「富士山会計FINEマニュアル」P.51を参照してください。

勘定科目・補助科目・部門(総勘定元帳のみ)

【2.総勘定元帳】から<2画面参照>画面表示の際、入力中の当期データ側で 設定した「勘定科目」「補助科目」「部門」の内容を引き継いで表示します。

図10 勘定科目・補助科目・部門の値を引き継ぎ

富士山会計FI 総勘定元帳	NE Reference	esta 取込	2 画面参照	確認印刷
月分 1 2 勘定科目 103	3 4 5 6 7 普通預金 (1) (1) (1) (1)	8 9 10 11 12 相手科目 << 前科目	決 全期間 次科 1 >>	
補助科目 1 付箋一括変更 No 日付	□ ^{縁銀行 青葉} なし 2 画面参照:			元帳
	月分 1 2	3 4 5 6 7	8 9 10 1	1 12 決 全期間
	勘定科目 103 補助科目 1	普通預金 縁銀行	相手科目 < 部 門 1	(前科目 次科 I >> 供通部門
	No 日付	相手科目	税区	